

高速道路の早期整備で、 安心・安全な まちづくりを



愛南町長 清水 雅文

新年明けましておめでとございます。皆様方におかれましては、ご健勝にて輝かしい年をお迎えのことと心よりお喜びを申し上げます。また、旧年中は町行政の各般にわたり、ひとかたならぬご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

早いもので、千年に一度といわれた未曾有の災害、東日本大震災の発生からやがて丸四年となります。時を同じく今年三月末には、宇和島道路の津島町高田〜岩松間（三・五km）が開通となり、時間にして五分程度の短縮ではありますが、精神的な安堵感は想像以上のものがあると思われまます。この開通により、岩松以南の津島道路（〜内海・柏）については相側から工事に入るということで、いよいよ、待ちに待った愛南町の高速道路元年

が訪れようとしています。今回まで、高速道路誘致に多大なるご尽力を賜りました歴代の首長様はじめ、関係各位のご労苦に対しまして、心より敬意と感謝を申し上げます。

私は、県下二〇市町の中で、町づくりにおいて、高速道路がもたらす恩恵が一番大きいのが私たちの町、愛南町であると思っています。しかしながら、内海以南の高速道路整備の計画は、いまだ示されておらず、今後三〇年以内の高い確率で起こるとされる南海トラフ巨大地震が発生すれば、東北地方と似た地形のリアス式海岸を持つ愛南町であるだけに甚大な被害が予想されます。内閣府の発表によると、高速道路未事業化区間である本町の沿岸部では一七メートル超の津波が想定されており、本町唯一の幹線道路「国道56号」は各所で寸断されて通行不能となり、まさに陸の孤島と化し、救援活動も困難を極め当地域住民の多くが尊い生命を失う危険性を孕んでおります。四年前の東日本大震災を目の当たりにしたとき、町民の誰もが高速道路の必要性を強く認識したのではないのでしょうか。

高速道路の恩恵は、防災減災・救急医療のみならず、日本一と折り紙付きの一次産品（海の幸、山の幸）の都市部への出荷、そのほか、企業誘致や観光客を含む交流人口の増加など、計り知れないものがあります。私も町政を預かる身として、高速道路の整備促進に、より一層注力する所存です。

また、時は迎えますが、「国民院をぶっ壊す」と大見栄を切って郵政改革に手を付けた小泉政権でありましたが、あろうことか医療制度までもぶっ壊してしまい、地方に極度の医師不足を招く要因を作ってしまった。平成一六年の医師制度改正以降、年々地方の医師不足が顕著になっており、特に、鉄道も高速道路もない愛媛の最南端に位置する愛南町では、その影響は深刻です。重症患者は近隣の宇和島市立病院等に搬送されるため、一刻の猶予もならない救急救命の現場では、搬送時間の短縮が生死の分かれ目となります。医療に関して言えば、患者側からの立場だけでなく、医療現場を支える医師の先生方やスタッフの皆さんも、たいへん苦勞されております。皆さんが働きやすい環境を作るには、せひとも法改正が必要ですが、医師制度改正以降一〇年経った今、課題がはつきり見えているにもかかわらず、一向に国政の場で話題にさえ上げられないのは、誠に残念な限りです。

行政には、次から次へと新しい課題が出てまいります。私は、いかなる問題にも、町民の皆様の声を集約しながら真摯に取り組んでまいります。

今年一年、町民の皆様にとりまして、幸多き年でありませうと祈念申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。

政策提案により、

さらなる「議会力」の 発揮へ



愛南町議会議長 山下正敏

新年あけましておめでとついでございます。町民の皆様におかれましては、ご健勝で希望に満ちた新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。目頃から議会運営に對しまして、温かいご指導とご協力を賜っておりますことに、議会を代表し心から厚くお礼を申し上げます。

昨年一〇月には、合併一〇周年を迎えました。町民の皆様とともに町名の由来である「愛媛の南に位置し、ここに住む人たちが町を愛し、地域や人を愛して、みんなが仲良く助け合って、元気な町になつてほしい」という思いを再認識しながら、新たな歩みを踏み出す節目になつたと感じております。

さて、昨年五月、全国八九六の市区町

村が二〇四〇年までに消滅する可能性があるという日本創生会議による試算結果に大きな衝撃を受けました。愛媛も二〇市町中一三の市町が含まれており、残念ながら愛南町もその一つとなっております。

早速、国におきましては、「地方創生」と称した地方活性化策が打ち出され、先般関連法案も成立したところであります。私は就任以来、町内の各業種の方々と議会との意見交換の場を持ち、様々な内容や実情等をお聞きすることで、議会活動の幅を広げるとともに、町民の代表であるという意識の醸成を図つてまいりました。自らの地域の創生には自らが取り組み、自らがアイデアを出していくことが求められる時代に、その一役を担う議会であるためにも、この取組を発展・継続させながら、議会としての政策提案により、町民の満足度を高めていくことが責務であると考えております。

以前から、注目し関心を持っておりました「ふるさと納税」制度における寄附者が、愛南町ではありがたいことに急増しております。これは、愛南町が贈答品として使用している特産品に、全国の方々が魅力を感じての増加であり、今後も制度改正により大きな伸び代が期待できる分野だけに、自慢の第一次産業の活性化につなげるツールとして活用していただきたいと考えております。

今後、人口減少社会においては、あれもこれもではなく、地域の仕組みをうまく小さくして質を高めることが大切になってまいります。だからこそ、個々の「議員力」のもとに、意見を集約した「議会力」を発揮することで、本来の機能である政策への批判や監視・評価を行うとともに、最終的には意思決定機関としての機能を高めていかなければならないと確信しております。

私は、学生時代サッカーをしておりましたが、勝つための神髄は、個々人の力だけではなく、「和を以て尊しとなす」だと信じており、今後の議会運営においてもチーム力を活かしていきたいと考えております。

今年も来年です。群れをなす羊は、家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らすことを意味しているそうで、町民の皆様におかれましては、穏やかに幸せな晴らしい一年でありますようお願い申し上げます。新年のごあゆまつといたします。